



ほんきであれ



多古町立多古第一小学校
2024年6月17日第8号(83号)

— たくましく生きる子ども育成 —

薬物乱用防止教室開催～薬物の恐ろしさを知りました～

6月5日（水）、6年生を対象に薬物乱用防止教室を開催しました。講師として千葉県警察本部生活安全部少年課北総地区少年センターの専門員の方に来ていただき、パワーポイントや実験、ロールプレイで、薬物の恐ろしさを学習しました。特に、実験の印象は強く、その恐ろしさを実感することができたようです。

現代は、情報化社会が進み、インターネットで簡単に薬物が手に入ってしまう時代です。学校はもとより御家庭でも、定期的に子供たちに声掛けをしながら絶対に薬物には手を出さないように指導をしていくことで、子供たちを守っていきましょう。



租税教室開催

～税金の大切さを知りました～

6月7日（金）、6年生が租税教室を開催しました。佐原法人会青年部会の方が講師となり、税金の役割やその重要性について学びました。ビデオを視聴し、税金がどのように使われているか、税金がなくなってしまうと、今の私たちの生活にどのような変化が起こってしまうのかを分かりやすく教えていただきました。

6年生では、社会科で税金の学習を終えたばかりなので、学習をさらに深めるのに十分に役立ったと思います。最後に、講師の先生がまとめた「税金はみんなで助け合って生活するための会費」という言葉が印象に残ったようです。

インターネット-ネット 子供を危険から守りましょう！

6月13日(木)、香取警察署管内学校警察連絡委員会が東庄町公民館で開催されました。総会終了後、第1回研修会が行われました。講師の千葉県警察本部サイバー犯罪対策課の講師の方から、「SNS ネットリテラシー」に関する話がありました。その中の話をまとめると以下のような内容でした。

1 ネットは世界中の人が見ている

⇒書き込みは、世界中の人が見ている

- ・世界のネット人口・・・51億6000万人(世界人口の64%)
- ・日本のネット人口・・・1億250万人(日本人口の83%)
- ・日本のSNS利用人口・・・9200万人(日本人口の75%)

2 ネット情報を鵜呑みにしない

⇒ネットには嘘の情報がたくさんあります。SNSの自己紹介には、嘘の情報も多く、詐欺の被害も数多く紹介されています。ネットの情報には疑いをもって接するようにしましょう。

3 面と向かって言えないことはネットでも言わない

⇒ネットでは相手の顔が見えないので、ひどい言葉を平気で言ってしまう傾向があります。ひどいことを言うと、もっとひどい言葉で返ってきます。

4 ネットで行ったことは、通信事業者に記録が残っている

⇒自分でこっそり行動しているつもりでも、電話会社には、契約したユーザーがネットで行った行動が通信記録という形で、残されています。犯罪予告をした人が警察に逮捕されてしまうのはこのためです。「ネットは決して匿名ではありません」

5 ネットに一度出たものをすべて回収することは不可能である

⇒ネットに掲載された発言や写真は、それを閲覧した人が自由にコピーできます。そのため何か問題になったときに元のファイルを消したところで、ネットの内容はすでに無数のコピーが存在している考えるべきであり、これを全て消すことはほとんど不可能である。

最後に「闇バイト」についても大きな問題になっており、目先のお金欲しさに逮捕者の若年化が進んでいると話がありました。

誰もがネット社会に触れることができる時代です。学校と家庭とが連携して子供たちを守っていきましょう。